



コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和3年9月1日(水) No.7 文責 校長 島田 二郎



晩夏から初秋へ この季節をどう過ごすか？

まだまだ残暑が厳しい時期ですが、ふと気がつく、ツクツクボウシが鳴いていたり、田の稲の緑も濃くなり、頭を垂れ始めたり、朝晩の日の出日の入り時刻の変化を感じたり、スーパーの果物コーナーも主役はスイカからブドウやナシへと変わりつつあったり、と確実に季節は移り変わっています。

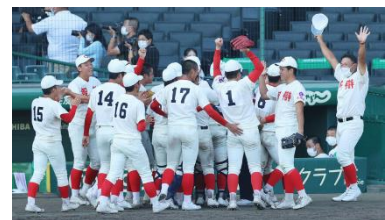


8月末の頃を『晩秋』、9月初めを『初秋』とも言うそうです。旧暦や近年の異常気象から必ずしも季語と今の気候は合致しない部分もありますが、いずれにしろ『盛夏』は過ぎ、秋へと移行しつつあります。



さて、ではこの季節を、どう過ごしましょうか？『〇〇の秋』について、先日の始業日に生徒指導担当の先生から話がありました。『食欲の秋』『読書の秋』『スポーツの秋』『芸術の秋』・・・秋は色々なことに取り組みやすい季節です。これからの過ごしやすくなる季節を充実した時期にしてほしいと思います。

先日、ネットで全国高校野球選手権(いわゆる夏の甲子園)において優勝した智弁和歌山高校の中谷仁監督に関する記事がありました。中谷監督は元プロ野球選手で、阪神、楽天、巨人に在籍していたそうです。中谷監督は、固定観念にとらわれない練習方法を取り入れまし



ました。シーズンオフの11月末から年明けまで、全体練習をせず、自主トレ期間としたそうです。「基本的に好きにやってくれ。こっちは指導しないからな」そう言われた野球部員は午後4時前から同7時まで自主練習をしました。練習メニューは与えず、自主性に委ねたそうです。休養をとり、自ら練習する意義を見いだした柔軟な指導法です。なお、2018年の監督就任後は「速読」や「ヨガ」など新しい練習法も取り入れ、野球に生かしているそうです。

この記事を読んで、ふと『これって中学生にも当てはまるかな』と思いました。

最近の感染状況をみると、まだまだ厳しい状況が続きそうです。学校は今後も感染予防を徹底しながら、当面は短縮授業の実施、部活動中止となります。そのため、放課後の時間に少しですがゆとりが生まれています(休養)。そしてこの時間を自主的に活用することも可能です(自主性)。さらには、せっかく生まれたゆりの時間ですので、新たな勉強法(速読やヨガ)を試してみても良いかもしれません。

『新型コロナでさえもバネにする!』と言われた方もいます。悲観ばかりしていても仕方ありません。季節はあっという間に流れていきます。何かを変えても良いし、変えずに継続したり、深めてみたりしても良いと思います。いずれにしろ、このような時期を、子ども達には有意義に過ごしてほしいと思います。

「させられている」と思って取り組んだら、何をやっても本当の力はつきません。
自分で決めたことを、自ら取り組めるようになると良いですね。

